

政策提案書

2019年 6月 12日

茅ヶ崎市長 佐藤 光 様

住 所  
提案代表者  
電話番号

次のとおり政策の案を提案します。

市民の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市内在住 <input type="checkbox"/> 2 市内在勤、市内在学、市内で事業活動等又は市に納税
勤務先、学校名、事業活動等の内容等	
提案する政策の名称	道路拡幅等、公共工事に関する自然環境の保全のマニュアル作成について
現状の課題、問題点	<p>茅ヶ崎市には茅ヶ崎版 ISO があり、公共工事を実施する時は自然環境に配慮しなければいけないことになっており、チェックリストも作成されている。</p> <p>しかし、それは無視され、多くの場所で在来種が生息する自然環境豊かな場所が壊され、削られてきた。そして、もっと悪いのは、その削った土手等に崩れ防止という名目で、外来種の種が埋め込まれたシート等が貼られたりもしてきており、これが繰り返されてきた。</p> <p>環境基本条例でも自然環境の保全は全市的な使命である。また、環境基本計画でもみどりの基本計画でも生物多様性を推進するようになっている。</p> <p>にもかかわらず、何か、問題が起こるたびに、自然環境の担当課として、景観みどり課が右往左往して、場当たりの在来種の植物を移植するくらいしかできないのが現状である。</p> <p>公共工事を実施する場合に自然環境に配慮した工事が実施されないのは、仕事のしかたに問題があると考え。本来、地方自治体としての工事を実施する場合は、すでにその設計段階から自然環境をどう守るか、計画に入れていく必要があるもの。</p> <p>例えば、道路拡幅を実施する場合は、その事業をする道路建設課が最初の段階の設計時に掘削する土手面をどうするか、企画し、入れておく。そして、事業者へ委託する場合にその部分も工事の中の指示に入っていることが必要だ。</p> <p>土手面を削った土を一時保管し、元の場所に戻すのが最善だが、それができない場合でも、在来種などを一時取り除き、のちに同じ場所に移植すればよいこと。</p> <p>ミチゲーションの方法である。本来、この内容はみどりの基本条例に入れるべきだったものであった。</p>
提案する政策の内容	<p>公共工事に伴う自然環境の保全のためのマニュアルを各担当課が自分の仕事の一環として作成する。</p> <p>景観みどり課が、生物多様性ガイドラインを作成することになっているが、その中で各担当課が在来種の保全のための実効性のあるマニュアルを作成することや外来種を使わないことや除去することを書き込むならば、それでも良い。</p> <p>例えば、道路担当課がある場所の道路拡幅を考える→現地調査→在来種の保全</p>

神奈川県  
茅ヶ崎市役所  
1.6.12  
第 号  
収 受



	必要と判断（自然環境庁内会議など）→設計・工事の委託発注の段階でその旨を入れる→どんなやり方ができるか、提示してもらう→工事实施→工事後の確認
予想される効果	このマニュアルを活用して、企画の段階から自然環境の保全を視野に入れたまちづくりにとって有効な行政ができ、将来にわたっての茅ヶ崎市の自然環境の保全が実現する。 これによって自然環境を大切にする業者も育つ。 これをしていることを説明することによって、市民も自然環境に関心を示し、自分の土地がそのような場所ならば、保全しようとするようになる。
必要な費用	必要がない。

- 備考
- 1 本人が自筆で氏名を記入したときは、押印を省略することができます。
  - 2 「市民の区分」欄は、茅ヶ崎市内に在住する場合は、□1にレ印を記入し、茅ヶ崎市外に在住する場合は、茅ヶ崎市内に在勤し、若しくは在学し、市内で事業活動等を行い、又は茅ヶ崎市に納税しているときは□2にレ印を記入してください。
  - 3 「市民の区分」欄の□2にレ印を記入したときは、「勤務先、学校名、事業活動等の内容等」欄に、勤務先、学校名、事業活動等の内容等を具体的に記入してください。
  - 4 「現状の課題、問題点」欄は、問題となっている事項、課題、その背景、考えられる原因等について記入してください。
  - 5 「提案する政策の内容」欄は、できるだけ具体的に記入してください。
  - 6 「必要な費用」欄は、提案する政策を実施するのに必要と見込まれる費用（概算でも可）を記入してください。
  - 7 この用紙に記入しきれないときは、必要に応じて別紙を使用してください。
  - 8 政策提案者署名簿（第3号様式）を添付してください。